



# 一般会計・特別会計の決算報告

平成 21 年度の決算が市議会で認定されましたので、「一般会計」「特別会計」の順に報告します。

■ 問い合わせ先 財政課 (☎ 82-1131)

## ◎一般会計の決算 ～実質収支は 2 億 2,515 万円の黒字～

平成 21 年度の一般会計の決算額は、歳入が 269 億 6,351 万円、歳出が 266 億 4,124 万円で、歳入・歳出ともに前年度比 20 億円以上の増額となりました。これは平成 20 年度から平成 21 年度への繰越事業として定額給付金事業、経済対策地域活性化事業が行われたことなどによる大幅増となっています。歳入から歳出を差し引いた形式収支は 3 億 2,227 万円で、このうち翌年度に繰り越された事業に関する事業費 9,712 万円を差し引いた 2 億 2,515 万円が実質的な黒字になります。

区分	21 年度決算額	20 年度決算額
市税	101 億 9,928 万円	105 億 9,767 万円
分担金・負担金	2 億 9,838 万円	2 億 6,910 万円
使用料・手数料	5 億 9,083 万円	6 億 3,502 万円
財産収入	8,153 万円	9,025 万円
諸収入	8 億 947 万円	8 億 4,035 万円
地方交付税	42 億 8,618 万円	38 億 5,499 万円
地方譲与税	2 億 1,840 万円	2 億 4,418 万円
交付金	8 億 9,256 万円	9 億 1,521 万円
国庫支出金	37 億 9,585 万円	22 億 3,283 万円
県支出金	15 億 8,354 万円	16 億 926 万円
繰入金	4 億 5,692 万円	5,765 万円
市債	33 億 6,770 万円	31 億 2,230 万円
その他	3 億 8,287 万円	1 億 8,014 万円

家計で言うと

本人の給料

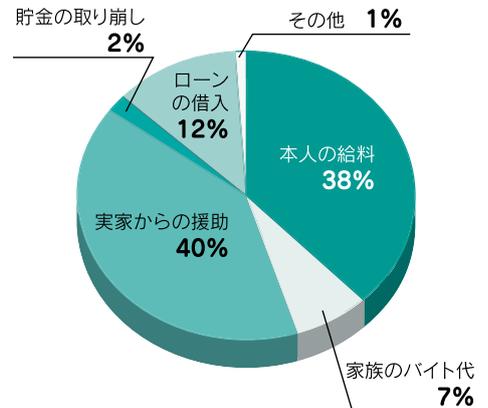
家族のバイト代

実家からの援助

貯金の取り崩し

ローンの借入

歳入：269 億 6,351 万円



### 歳入の主な増減

- ・市税 景気悪化による落ち込みにより 3 億 9 千万円の減額
- ・国庫支出金 定額給付金事業・経済対策地域活性化事業などにより 15 億 6 千万円の増額
- ・市債 公的資金補償金免除繰上償還に伴う借換債の発行などにより 2 億 4 千万円の増額

区分	21 年度決算額	20 年度決算額
人件費	58 億 3,340 万円	59 億 7,670 万円
物件費	26 億 3,888 万円	22 億 9,731 万円
維持補修費	1 億 4,176 万円	1 億 5,784 万円
扶助費	46 億 7,654 万円	43 億 7,235 万円
補助費等	30 億 828 万円	16 億 8,200 万円
公債費	38 億 8,097 万円	35 億 6,555 万円
繰出金	30 億 9,123 万円	27 億 4,544 万円
投資的経費	21 億 2,354 万円	23 億 4,325 万円
その他(積立金等)	12 億 4,664 万円	11 億 3,197 万円

家計で言うと

食費・税金

光熱水費

家や車等の修繕費

教育費・医療費等

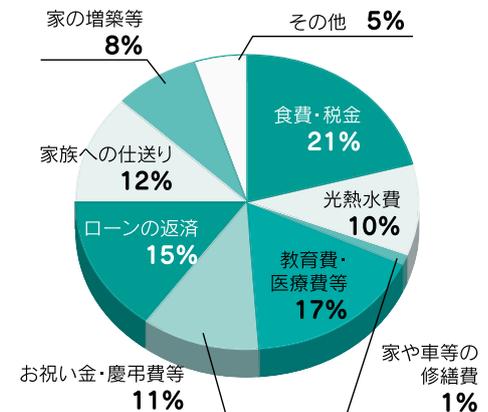
お祝い金・慶弔費等

ローンの返済

家族への仕送り

家の増築等

歳出：266 億 4,124 万円



### 歳出の主な増減

- ・人件費 職員数の減に伴い 1 億 4 千万円の減額
- ・物件等 斎場など新たに 6 施設を指定管理としたことなどにより 3 億 4 千万円の増額
- ・扶助費 生活保護費、施設支援等給付費の増などにより 3 億円の増額
- ・補助費等 定額給付金事業などにより 13 億 2 千万円の増額
- ・公債費 公的資金補償金免除繰上償還などにより 3 億 1 千万円の増額